

「挑戦」すること ～大分県警察学校（R5）改修設計業務～

株式会社 俊設計
総合主任担当技術者

■業務の概要

施設の老朽化が進み、外壁劣化や内部への漏水が確認されるようになった大分県警察学校。本業務では、当該施設の外壁及び、屋内外防水調査により現状の把握を行うとともに、それら劣化箇所において適切な改修工法の提案を行いました。

改修設計の場合、既存の劣化・損傷状態を正確に判別できていないと、適切な改修工法の提案ができません。

現地調査ではできるだけ細かく、多くの写真を撮影し、会社ではそれら写真と自身の記憶を基に設計を行います。

設計が進むと、撮影が漏れている箇所、写真だけでは判別できない箇所がどうしても生じてくるため、その都度現地に足を運び、計4回の現地調査を実施しました。

【施設概要】管理棟 鉄筋コンクリート造 2階建 1,847.56㎡
厚生棟 鉄筋コンクリート造 2階建 1,406.17㎡
教室棟 鉄筋コンクリート造 3階建 1,411.05㎡



現地調査で得られた情報を基に、各図面へ損傷状況のプロット及び、報告書作成を行うとともに、建築改修工事監理指針における改修工法選定フローに基づいた改修工法の提案、改修設計図の作成を行いました。

改修設計図作成の様子→

屋上防水については、目視及び触診による調査を、外壁については、2mの脚立と2mの打診棒を用いた調査を実施することで、広範囲の劣化状況の判別が可能となり、より高い精度の改修設計を行いました。

←現地調査の様子



■私のやりがい

私がこの仕事をする上でのやりがいは大きく2あります。

1つは、自分の想いを詰め込んだ企画で、コンペやプロポーザルに「挑戦」し、勝ち抜くことができたとき。もう1つは、そうしたプロセスを経て自分が設計した建物が形となって完成したときです。今後は整備局の案件にも「挑戦」し、そのような達成感を体験したく、まずは実績を積むことを目的とし参画したのが本業務でした。

業務期間中は、何度も現地へ足を運び、帰って図面を作成したりと忙しい日々を送りましたが、その甲斐もあって、先般、国土交通行政功労表彰をいただくことが出来ました。

公共建築設計を主とする当社は、コンペやプロポーザルに「挑戦」し、勝利をおさめなければ仕事はありません。ですから、発注者から出される要求を忠実に満たした設計を行うことはもちろん、日頃からたくさんの建物を見て、そこから意匠設計者としてのセンスや発想力を鍛え、新たな「挑戦」に備えています。



■休日の過ごし方

家族共通の楽しみとして旅行に行くことが多いです。

グランピングや、テーマパークを目的とした旅行も行きますが、温泉に入り、おいしいご飯を食べるような、ゆっくりと過ごす旅行が特に好きです。湯布院へ旅行に行く際は、金鱗湖周辺の食べ歩きも楽しみの一つです。

また、有名建築家の手掛けた旅館に宿泊する際は、各部の納まりを見て自身の設計の参考にもさせていただいています。

個人的には友人とのゴルフや、8月から10月までの期間限定ですが、資格学校にて一級建築士製図の講師も行っています。

